

「水桜会だより」 2018 夏号

水桜会 会長挨拶

梅雨明けと同時に厳しい暑さの毎日ですが、皆様お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。暑いには抵抗を感じますが、水泳シーズン到来と考えることもできます。

今年度から会長に就任した、内田暖です。

皆様とご一緒に水桜会を盛り上げていきたいと考えています。

学習院の唱える『勢いのある学習院』に即して、我々水桜会も『勢いある水桜会』を目指し、今まで以上に会員相互の親睦と現役への物心両面の支援をし、社会貢献のできる素晴らしい学習院の後輩を社会に送り込みたいと思います。

その為には、皆様のご協力とご理解が必須となります。

水桜会の地位を確立するには、現役が好成績を記してくれることが第一です。

現役強化には、物理的にお金がかかります。

年会費のお支払い、寄付へのご協力にご理解のほど宜しく願いいたします。

また、先輩からの指導が必要です。練習や試合に足をお運びいただき、現役にアドバイスを頂けると幸甚です。

さらに、一貫校としての良さを持った行事「五部対抗」が、来る 8 月 26 日（日）に開催されます。年々、充実した企画となるよう努力しております。大勢の方に参加していただきたくお願い申し上げます。詳細については、五部対抗のページをご覧ください。

輔仁会 水桜会会長

内田 暖(S45 高男)

本号の配布物について

- ① 水桜会だより (A3 表裏面の 4 ページ。)
- ② 現役レポート (A3 表裏面の 4 ページ。)
- ③ 五部対抗のご案内 (OBOG のみ配布)
- ④ 会費納入願いと振込用紙 (70 歳未満の OBOG で未納の方へのお願いです。手違いもしくは未記録の為、納入済の方に封入されていたら申し訳ございません。恐れ入りますが情報発信担当の大貫か会計の小池までご連絡下さい。)

本号は以上です。お読みくださいますようお願い申し上げます。

水桜会総会 報告

4月15日(日)10時30分～12時、学習院大学西213教室で、25名のOBOGの出席をいただき、決算報告、予算案、理事役員人事案、会則変更案を原案通り承認いただいた。

承認された人事につき、変更の点は下記のとおり。副会長、会計、事務局長、下記記載理事以外は留任しました。

次期会長に、内田暖氏(S45高)が就任。永尾嘉紹氏(H01大)、井上瑛氏(H27大)が理事就任。会計監査は関根玲子氏(S53大)、福岡大祐氏(H24大)が就任。作山正宏氏(S44大)が会長退任。山本昇氏(S41高)、松村妙子氏(S48女高)は理事退任。

総会終了後、「懇親の集い」を引き続き行い、昔話に盛り上がりました。

尚、総会議事録は、学習院桜友会HP⇒運動部⇒水桜会に掲載されております。

8月26日(日) 恒例の五部対抗水泳大会を開催

10:30～14:30(10:30受付開始 11:00開会式) 大学プールで、男子部・女子部・大学の水泳部や、OBOGのご家族も参加して行われます。フリータイムも設け、お子様達も充分楽しめる企画もあります。プールサイドでは、軽食も用意し、レースや親睦水球を見ながら、歓談が楽しめます。

今回「水桜会ポロシャツ」の販売もいたします。同封の案内状をご覧ください、万障お繰り合わせの上ご参加下さい。

大学水球部門

昨年に引き続きOBの皆様には寄付をはじめとして、練習のサポート、試合の応援とご協力をいただきありがとうございました。

関東学生水球リーグ戦は6月24日で終了致しました。お陰様で学習院は2部3位で終了することができました。OBの方から3位は24年ぶりというご指摘があり確認したところ平成6年以来でございました。しかし、好結果ではあるものの、我々はインカレ出場ができる2位が目標ですので、引き締めて来年にリベンジを果たしたいと思っております。

今年は、昨年より1か月早い2月初旬から目白プールでの始動を考えておりました。学校側も大変協力をいただき2月の初旬には水温25度になり安心していたところ、クラブハウス建て替えに伴う仮設風呂が小さく(家庭用の風呂2つ)、選手が20名近い人数がいるなかで全員の体調管理を考えるとプールでの練習を断念せざるを得ませんでした。急遽、三重に帰った前任コーチの太田君の協力を得て鈴鹿スポーツガーデン(JOC指定プール)での合宿を計画、なんとか2月中の基礎作りは可能となりました。そして、3月からは目白での練習をはじめ、3月中旬と5月には合宿を行い、基礎と基本の強化ができました。それと、今回特筆すべきことは、学習院のレベルが上がったことで上位校が練習試合を受けてくれるようになり、明治、中央、早稲田、成蹊といった学校と練習試合を重ねることができました。強い学校とのゲームは選手にとって良い体験となっています。さらに、コーチの小谷君の人脈でオリンピック等の国際試合の経験を持つ審判員の方々に練習に来ていただき、練習で笛を吹いていただき、マネージャーの笛の指導もしていただきました。回数を重ねるうちに大変上達し練習の笛のレベルが大変アップし、さらにリーグ戦の笛を吹くことになった者もおります。このように、いろいろな取り組みのほか、4月には、埼玉栄高校、武蔵高校での水球経験者2名、水球未経験者1名、女子マネージャー4名が入部、経験者2名の入部は先輩選手達にも良い刺激になっております。ようやく、運動部らしい「ポストを争う競争と、互いに助け合う協調」ができるような環境に

なってきたのだと思います。

今回上位に返り咲き改めて考えたのは、学習院の水球はどこを目指すのか？ということです。私見ですが、際限なく上位を目指すのはあまり意味がないと思っています。常に1部の下位から上位で安定した成績を残す、未経験者でもきちんとした訓練をして3年生ぐらいからはベンチ入りできる、そういう部にしたいと思っています。学生達には4年間の間に学業もきちんと学び、学生生活もエンジョイする、部活動では、練習や部の運営だけでなく、一生の友もつくる、そんな学生生活を送ってもらいたいと思っています。だからこそ、練習、規律、マナーについては厳しく指導し、いずれは、それらを身につけた上級生が下級生を指導できるようなチームにしていきたいと思っています。

今後の予定ですが、次は11月の新人戦が当面の目標となります。新人戦までにさらに力をつけ来年のリーグ戦に臨んでいきたいと思っています。そして、年が明ければすぐに練習に入ります。

それにつけても、ここまで復活できたのもOBの方々のご支援があったからです。お金の裏付けがないと強化も何もできません。引き続きよろしく願いいたします。

OBの方々にはもう一つお願いがございます。これから夏本番となりますが、ぜひ機会がありましたらプールにお越しください。水泳部の現役はあまりにもOBの方を存知あげず、OBは現役に無関心というように思われます。いろいろな年代のOBの方々がプールにお越しいただくことこそ、学生達を運動部員に育てていく重要なファクターの一つだと思っています。なにとぞよろしくお願い申し上げます。(練習日程については水桜会にお問い合わせ下さい)

水球部門監督 辻井敏博

大学競泳部門

今年も4月に1年生を向かえ、関東学生選手「男子3部優勝。女子関カレ全員出場・得点獲得」を目標に掲げ、監督以下、コーチ・選手・マネージャーが一丸となって部活動に取り組んでおります。前回の水桜会だよりで上げた3~6月のレースについて報告させていただくと、結果は良好でした。

中でも6月に行われた夏季公認記録会ではベスト記録を出した選手が8割を超えました。冬場の練習で夏場のスタミナを蓄えることが出来た上に、夏シーズンに向け調子が上がってきた証拠ではないでしょうか。冬場の練習環境にご協力いただいた関係者様には改めて感謝申し上げます。

さて、我々水泳部競泳部門は夏季公認記録会を終えれば1年間の大本命、8月4~6日に行われる関東学生選手権に向けてより一層気を引き締めて取り組んでおります。

関東学生選手権では1種目3人のエントリー枠があります。今年も部内における「枠争い」がありました。6月までのレース結果を踏まえエントリー枠を争い出場する選手達は「チームのため」という言葉を良く使います。エントリー枠を争って勝ち取った選手は結果を出さなければならない、と言ったプレッシャーとも戦わなければなりません。

プレッシャーに打ち勝ってベスト記録を更新しチームに貢献できるよう、OBOGのみなさまには是非、横浜国際プールに足を運んでいただきご声援を頂きたく思います。

競泳部門コーチ 村田 陽甫

男子部

主将鈴木啓斗率いる高等科水泳部は、6月2日に行われた筑波大学附属高等学校との定期対抗戦にて104対91で見事勝利を収めることができました。また2つのリレー杯を勝ち取り、完全優勝を成し遂げることができました。今大会は、点差からも分かる通りかなりの接戦を強いられての勝利となりました。中でも、100mバタフライでは立花(2)が圧巻の泳ぎを魅せ57.72で、400mメドレーリレーでは佐藤(2)扇田(3)立花(2)植木(3)が泳ぎ、4分02秒57で大会新記録を樹立しました。800mフリーリレーでは主将の鈴木(3)がアンカーを務め、貫禄のある泳ぎを魅せました。

また、その後のJ0予選会では興津(1)が200mの自由形で1分58秒87、植木(3)は24秒34という好タイムを叩き出しました。この結果は3月26日から3月30日にかけて行われた合宿や日頃の練習成果を選手達が存分に発揮した結果かと思えます。もちろん応援に来ていただいたOBの皆様や保護者の方々のお力あつての結果だと心得ております。来年度以降もこの成績に甘んじることなく努力して参りますので、引き続き水桜会の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

男子部コーチ 藤林 拓海 (大学競泳)

女子部

平成30年度も、例年通り高等科附属戦(6月2日)から本格的な試合期に入りました。昨年の雪辱を果たすべく、三年生を中心に選手選出にも熟慮を重ね、結果124対73で勝利。リレー杯二つも手にし、また、400Frで高三関口舞花が4分39秒31で、高三石島瞳子が4分44秒90で、高一石島楓子が4分52秒19で、大会記録を樹立しました。

この勢いを保ち6月9、10日の春季大会へ出場。自己Best更新者も多々見られました。9日に同日開催されました東京都高等学校選手権アーティスティックスイミング競技に石島瞳子、楓子姉妹が出場し両名共華麗な演技を披露。姉の瞳子が3位になりました。他の選手がクラブチームから声援を受ける中、二人には学習院女子からの大きな応援が寄せられ、競技後には皆で喜びを分かち合う場面もありました。6月23、24日の都高校においては高三関口舞花が100Baで8位に入賞し関東大会進出を決めました。目指せハイ!

高等科は附属戦後に三役を、部長 前野友理、副部長 濱田真由美、マネージャー 齊田朱里、へ引き継いでおります。

中等科でも6月16、17日の総体において自己Best更新者が多く、収穫の多い試合となりました。チームとしても200フリーで12位、200メドレーで11位、と入賞を狙える位置にあり、都中学で更に上位を目指します。

新プールでの初めての夏を迎え、練習にも更に熱が入っております。女子中、高等科への変わらぬご声援を今後ともよろしくお願い申し上げます。

女子部コーチ 時谷一滋

水桜会情報は、桜友会HPにも掲載されております。

桜友会事務局のご配慮で、「水桜会だより」「大学現役レポート」と「総会議事録」が掲載されております。桜友会HP⇒(左下の)⇒運動部⇒水桜会で、開けます。

以 上